

## 審判関係注意事項

日本ボート協会競漕規則の改定、および今大会での運用ルールについて、事前に連絡しますので徹底願います。

### 、日本ボート協会競漕規則の改定について

昨年10月1日に改定された箇所について、再確認をして出漕してください。

主な改定箇所

- 1、発艇5分前の申告は不要となりました  
各クルーに対して発艇員よりクルー名と入るべきレーンの指示があります。  
発艇員の指示があるまで各クルーはスタート近くのコース外で待機しててください。  
各クルーはその指示に従って速やかにスタート位置に着いてください。  
尚、各クルーによる到着申告は不要となりました。
- 2、発艇号令がFISAの発艇号令と同じとなりました  
発艇号令は下記の要領で行われます。

#### 《2分前コールの後》

発艇旗を下げたまま、出漕クルー名を1レーンからロールコール(1×については姓のみコール)  
“アテンション”と発し 発艇旗を頭上に掲げる 明瞭な“間(ま)”を置いて「ゴー」と発し発艇旗を振り下ろす。

- 3、技術未熟による発艇猶予の要求は認められないことになりました  
発艇時に漕手が手を上げて発艇猶予を求める行為は認められません。

### 、諏訪湖レガッタ・全国ナックルフォア大会における運用ルールについて

開催時期および下諏訪漕艇場特有のコース条件等を勘案して、次のとおりの運用ルールを設けます。

なお、この運用ルールはこの大会だけに適用するルールであり、他の大会では適用されませんので十分に注意してください。

- 1、ユニフォームは上半身のみの統一を原則とします  
この時期の諏訪地方は気温が低いので、下半身の服装や帽子等については、良識の範囲内において各クルーの自主性に任せます。
- 2、コックスのユニフォームは漕手と異なっても良いこととします  
この時期の諏訪地方は気温が低いので、コックスの健康管理を考慮して防寒の為に、良識の範囲内において、そのユニフォームを漕手と同一とする必要性は問いません。  
ただし、コックス計量においては基本的に漕手と同一のユニフォームでの計測とします。
- 3、ユニフォームにクルーの正式名称または略称が表示されていれば、ゼッケンは不要とします。  
表示されていない場合は、パウとコックスの背中にB5サイズのゼッケンを着けてください。  
漕手のユニフォームが不統一のクルーについても、ゼッケンは必ず着けてください。
- 4、レース中、主審が方向を指示する場合があります  
下諏訪漕艇場はレーンと岸は平行になっていません、特に600m付近は岸が大きく湾曲していますので、危険を回避するため「クルー 沖」あるいは「クルー 岸」等と主審が警告する場合がありますので、指示に従って漕ぐようにしてください。
- 5、中学生のコックス計量はありませぬ  
日本ボート協会競漕規則には明記されていませんが、中学生のコックス計量は行いません。
- 6、届け出用紙の提出は徹底してください  
(1) 棄権・選手の交替・漕手のユニフォームの不統一・ブレードカラーの不統一等がある場合は必ず競漕委員会へ責任者の署名を記した書面をもって届け出てください。  
(2) 用紙は前日の場合は開会式場受付に、当日の場合は乗降艇スロープ横の競漕委員会席に備え付けてあります。  
(3) 例年、棄権について届け出のないクルーが多々見られます。選手の交替・漕手のユニフォームの不統一等についてはできる限りの配慮をしますので、未提出のないようにしてください。

以上